【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公表番号】特表2007-519712(P2007-519712A)
【公表日】平成19年7月19日(2007.7.19)
【年通号数】公開・登録公報2007-027
【出願番号】特願2006-550492(P2006-550492)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｎ　1/00　(2006.01)
Ａ０１Ｎ　1/02　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　1/20　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　5/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｎ　1/00
Ａ０１Ｎ　1/02
Ｃ１２Ｎ　1/20　Ｂ
Ｃ１２Ｎ　5/00　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月30日(2008.1.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
細胞を凍結乾燥するための方法であって、以下の工程を具備する方法：
(a) 平衡塩類溶液およびエピガロカテキン没食子酸塩（EGCG）を含む凍結乾燥溶液を、前記細胞のサンプルに添加する工程と、
(b) 前記エピガロカテキン没食子酸塩（EGCG）を含む前記細胞のサンプルを凍結乾燥し、凍結乾燥された細胞を得る工程と、
(c) 前記凍結乾燥された細胞を貯蔵する工程。
【請求項２】
前記凍結乾燥溶液が、デキストランおよびトレハロースからなる群から選択された少なくとも１以上の巨大分子を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記細胞が、赤血球(RBC)、白血球(WBC)、単核細胞(MNC)、臍帯血細胞(UCB)および造血性幹細胞(HSC)からなる群から選択される、請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
生存可能な細胞およびEGCGを含む乾燥された細胞サンプルであって、平衡塩類溶液およびEGCGを含む凍結乾燥溶液の存在下において前記細胞を凍結乾燥させることによって得られうる、乾燥された細胞サンプル。
【請求項５】
乾燥前のH_2O含量と比較したときに10％未満のH_2Oを有する、請求項４に記載の乾燥された細胞サンプル。
【請求項６】
前記細胞が、赤血球(RBC)、白血球(WBC)、単核細胞(MNC)、臍帯血細胞(UCB)および造血性幹細胞(HSC)からなる群から選択される、請求項４または５に記載の乾燥された細胞サ

ンプル。
【請求項７】
デキストランおよびトレハロースからなる群から選択された少なくとも１つの巨大分子を含む、請求項４～６のいずれか１項に記載の乾燥された細胞サンプル。
【請求項８】
生存可能な細胞の凍結乾燥のための凍結乾燥溶液であって、平衡塩類溶液およびEGCGを含む凍結乾燥溶液。
【請求項９】
デキストランおよびトレハロースから選択された巨大分子を含む、請求項８に記載の凍結乾燥溶液。